

デンマーク林業大学生等 四八名が来島

二月一八日から二二日まで、デンマーク国立林業大学で森林・林業・景観計画を専攻する四年生と講師らが国有林を視察しました。

当署では植生の垂直分布をテーマに一日目：西部林道、二日目：白谷雲水峡、三日目：黒味岳の日程を組み、研修に協力しました。

西部林道では常緑の森林を珍しそうに眺め、特にクワズイモやテンナンショウなどサトイモ科の植物に強く興味を示していました。白谷雲水峡では滝の渓谷美や屋久杉の切株の古さに感心し、太鼓岩では宮之浦岳から小杉谷の景観に大満足。

森林軌道や小中学校跡では苔むした石垣を前に林業の歴史や昔の生活をしのびました。黒味岳は降雪で断念したもののヤクスギランドから天文の森まで皆伐や風倒を経て更新して



いく森林の仕組みや、江戸時代の伐採後に成立したコスギの森林の解説を聞きながら歩き、折からの新雪を背景にシャッターを切る音が絶えませんでした。

また、森林生態系保護地域におけるコア・バッファの区分や施業規制、自然休養林の維持管理の考え方、狩猟規制について高い関心が寄せられました。下山後も貯木場を見学したり、春田浜にて磯の生物を興味深く観察するなど大変充実したハイキングとなりました。

デンマークでは森林が国土の一二%しかなく（我が国は六七%）、そのほとんどがマツやブナの植林地で、平坦地が多いため、屋久島の森林の

屋久島の植物



アコウ
くわ科

紀伊半島以西に分布する常緑高木。巨木は高さ二〇mにも及び、いろいろな樹木を着生させているものを見る。幹の途中から気根を垂らすのが特徴。常緑樹ではあるが、年に何回か一斉に葉を落として新芽と入れかわるのが見られる。

景観はとても新鮮に映ったようです。

今回は、訪問者が比較的大人数であったことから、島内の山岳ガイドと連携して実施しましたが、結果的には森林・林業・地元の産業について多彩な内容を盛り込み、英語で直接語りかけたこともあって好評のうちに終了することができました。景観計画につ

いて本格的に解説できなかった反省がありました。太鼓岩、トローキの滝、松峰大橋など標高差のあるダイナミックな景観や、自然休養林に松峰大橋など標高差のあるダイナミックな景観や、自然休養林における歩道整備など実地見学を通じて何かを感じてもらえたのではないかと考えています。

屋久島生態系モニタリング

湿原基礎調査（花之江河・小花之江河） 平成13年度調査

- 概況**
標高は約1,600mであり、日本最南端の高層湿原で、湿原ができあがったのは6,300年前の鬼界カルデラの大噴火による幸屋火砕流の堆積がはじまりとされる。
- 気候**
過去6年間における降水量は、黒味岳観測所のデータによると平均5,300mm/年であり、最大降水量は700mm/日（1997年）・71mm/時（1998年）である。おおむね5,000～7,000mm/年となっている。
- 水質**
森林総合研究所九州支所の分析結果によると花之江河はpH5.5/（'97～'00年平均）・EC値18.7μs/cm/（同年平均）、小花之江河は5.9/（同年平均）・EC18.8/（同年平均）である。
一般的に高層湿原における流水のpH値は比較的雨水に近いことが知られており、EC値はミネラル分をあまり多く含まず数値が低くなる傾向にあると言われている。屋久島の他の観測地と比較すると、pH値は0.5ほど低く（酸性）、EC値は（5.0～10.0μs/cm）程度低くミネラル分が少ない傾向にある。

防風保安林に植樹 （安房集落防風林強化対策事業）

今年も安房港に面する浦浜沿いの国有保安林にて、二月二六日、安房区、安房小、森林管理署の共催により、シャリンバイとマツクイムシに強い抵抗性マツ（スーパードグリーン）をそれぞれ六〇本を植樹しました。

この事業は四年前から続いていますが、卒業を間近に控えた安房小六年生三十一名は、防風林のもつ役割の説明を聞いた後シャリンバイを植樹し、自分で書いた名前の杭を立てました。

山岳部利用

対策協議会開催

今年度第四回の協議会が開

催され、一五年度の事業計画とゴールデンウィーク期間中の車両乗り入れ規制について協議しました。

マナーガイドの大幅な見直しについては、一六年度分に向けて作業を進めていくことになりました。

GWの車両規制については昨年どおり五月二、四日の午前四時三〇分～八時までを規制することとなりましたが、毎年恒常的にすべきとの意見がありました。

一五年度事業についてはほぼ今年度どおりの事業内容で了承されました。

愛子岳山頂に意味不明の掘り返し跡？

YNACから、二月九日に登山したところ、山頂中央部に大きな掘り返し跡があるとの情報が寄せられました。提供して頂いた写真を見ると、確かに相当の労力を掛けて掘ったと思われる跡が写っています。また、「愛子まつり」時に標高を標示した表示板も壊されています。平成一三年九月も同様な違法行為があっており二回目です。

これは明らかに自然公園法違反であると思われます。

また、尾之間歩道沿いでも大きな屋久杉からコブが盗採されているのをガイドの方が発見して通報して頂きました。

登山等で不審な行動を見かけられた時は当方まで通報をお願いします。

盗掘り返された跡（愛子岳山頂）



盗採されたコブ跡（尾之間歩道）

